

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 3 区分
 【発行日】平成28年7月28日 (2016.7.28)

【公開番号】特開2015-78802(P2015-78802A)
 【公開日】平成27年4月23日 (2015.4.23)
 【年通号数】公開・登録公報2015-027
 【出願番号】特願2013-216916(P2013-216916)
 【国際特許分類】

F 2 4 F 11/02 (2006.01)

【F I】

F 2 4 F 11/02 S

【手続補正書】

【提出日】平成28年6月7日 (2016.6.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被空調室内を撮像する撮像手段と、

前記撮像手段で撮像された画像から検出される在室者の状態が変化したときに外部の情報端末へ通知する外部通知モードを有する制御手段とを備える空気調和機の室内機。

【請求項 2】

前記制御手段は、さらに、前記撮像手段により撮像された画像から検出される在室者の状態が変化したときに外部の情報端末へ通知しない非通知モードと、

前記外部通知モード又は前記非通知モードを選択することができる通知モード設定部とを有する請求項 1 に記載の空気調和機の室内機。

【請求項 3】

前記制御手段は、前記撮像手段で撮像された画像から在室者を検出する在室者検出部を有し、

前記通知モード設定部で前記外部通知モードが選択されている場合であって、前記在室者検出部で検出される在室者の数が変化したときに、外部の情報端末へ通知する請求項 2 に記載の空気調和機の室内機。

【請求項 4】

前記通知モード設定部で前記外部通知モードが選択された時から安定時間経過前に前記在室者検出部で検出される在室者の数が変化した場合は外部の情報端末に通知せず、前記安定時間経過後に前記在室者検出部で検出される在室者の数が変化した場合は外部の情報端末に通知することを特徴とする請求項 3 に記載の空気調和機の室内機。

【請求項 5】

前記制御手段は、前記撮像手段で撮像された画像から在室者を検出する在室者検出部を有し、

前記在室者検出部は、前記空気調和機の運転中は第 1 の設定時間において設定割合以上在室者を検知したときに在室者の在室を確定し、

前記在室者検出部は、前記通知モード設定部で前記外部通知モードが選択されている場合であって、前記空気調和機の運転停止中は前記第 1 の設定時間より短い第 2 の設定時間において設定割合以上在室者を検知したときに在室者の在室を確定することを特徴とする請求項 2 に記載の空気調和機の室内機。

【請求項 6】

前記制御手段は、在室者の位置、又は、在室者の顔の位置の変化に基づいて在室者の活動量を算出する活動量算出部を有し、

前記通知モード設定部で前記外部通知モードが選択されている場合であって、前記活動量算出部で算出された在室者の活動量が設定値以上である状態から前記活動量算出部で算出された在室者の活動量が設定値以下である状態に変化したときに、外部の情報端末へ通知する請求項 2 に記載の空気調和機の室内機。

【請求項 7】

被空調室内を撮像する撮像手段と、
制御手段とを備え、

前記制御手段は、在室者の位置、又は、在室者の顔の位置の変化に基づいて在室者の活動量を算出する活動量算出部と、

前記撮像手段で撮像された画像から在室者が検出された場合であって、前記活動量算出部で算出された在室者の活動量が設定値以下であるときに、外部の情報端末へ通知する外部通知モードを有する空気調和機の室内機。

【請求項 8】

前記請求項 1 乃至 7 のいずれかに記載の空気調和機の室内機と、

圧縮機と室外熱交換器と室外送風ファンと膨張機構を有する室外機とを備える空気調和機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明の空気調和機の室内機は、被空調室内を撮像する撮像手段と、撮像手段で撮像された画像から検出される在室者の状態が変化したときに外部の情報端末へ通知する外部通知モードを有する制御手段とを備える。制御手段は、さらに、撮像手段により撮像された画像から検出される在室者の状態が変化したときに外部の情報端末へ通知しない非通知モードと、外部通知モード又は非通知モードを選択することができる通知モード設定部とを有する。